



大阪市立 東中本小学校

所在地 〒537-0021 東成区東中本2-9-3

電話 06-6971-0048

校長名 小坂 元彦

学級数 24学級 (内 特別支援学級7 通級1)

児童数 476人 標準服 有 集団登校 有



学校概要

「自ら考える子、挑戦する子、互いに認め合う子を育む～『根気・勇気・元気』東中本小～」を教育目標と掲げ、目標に向かって積極的にチャレンジし、一人一人がのびのびと活動できる学校にするため、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を推進していきます。

「運営に関する計画」の概要

安全・安心な教育の推進

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を71%以上にする。
- 本市調査における「いじめられる側にもそれなりの理由や原因があるといった姿勢で対応するのではなく、いじめられる側が悪いというふれない認識で対応している」とする教員の割合を100%にする。
- 令和6年度校内調査の「進んであいさつすることができていますか。」の項目で、肯定的な回答を85%以上にする。
- 令和6年度校内調査の「友達とよく話したり、遊んだりしている。」の項目で、もっとも肯定的な回答を85%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1を満たす教職員の割合を68%以上にする。
- 令和6年度末の保護者アンケートの「学校は、校内の教育活動を学習参観や学校公開、ホームページ、各種たよりなどでよく公開している。」の項目について、最も肯定的な回答をする保護者の割合を、68%以上にする。

学力の状況と学力向上に向けた取り組み

国語では、読み・書きの領域に課題があり、自分の考えを深めたり、自分の思いや考えを書いたりする力をつけていく必要があります。算数では、数と計算・図形の領域が課題で、基礎、基本的な内容の取得と最後まで粘り強く考える態度、姿勢を身につけていく必要があります。そこで、主体的・対話的で深い学びの学習により、考えを深めるようにしています。また、ペアやグループで話し合いや発表ができるように工夫し、基礎学力の底上げとしては、「navima」を活用するなど、それぞれの児童に合った学習内容に取り組めるように、ICTを有効に活用していくなど、様々な学習場面において表現できる場を設けることなどを行っています。

特に国語科では、物語文において、「読み」を深めたり、広げたりする授業を展開し、児童の読解力の育成を目指しています。また、読書環境を整え、読書活動を充実させ、物語や読書に親しみ、語彙力を増やすことを目指しています。

★令和5年度 全国学力・学習状況調査結果 (平均正答率)

国語	算数
65	57

体力の状況と体力向上に向けた取り組み

数年前より、体育的活動の機会を増やしてきました。体づくり運動を中心として、授業の充実のために指導力の向上と実技研修の実施、運動機会の充実に取り組んでいます。



★令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (種目別平均値)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン
男子	15.66	17.08	30.64	42.51	45.33
女子	15.76	17.27	34.21	39.93	39.00
	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
男子	9.60	155.00	21.89	51.54	
女子	10.10	151.46	12.43	54.00	

東中本小学校の目指すもの

「自ら考える子、挑戦する子、互いに認め合う子をはぐくむ～『根気・勇気・元気』東中本小～」を教育目標とし、子どもが授業のめあてを自分のこととしてしっかりと受け止め、自らの考えや感じたことを出し合っ、話し合いを深めていく子どもの育成をめざしています。具体的には、人の意見を聞いて自分の意見を持ち、自分の意見を発表すること。また自分はどう考えているか、これからどうしたらよいか明らかにすること。また互いに信頼して認め合う活動をする事です。

ICT教育の推進

本校では、ICT教育の推進に力を入れており、1人1台の学習者用端末を1日1回以上、どの学年も使用しています。使用内容も navima (学習アプリ) だけでなく、心の天気 (児童の生活観察アプリ) など、各学年指導計画に合わせて活用能力の育成を行っています。また、小小連携という形で他校とICT機器を用いた交流学习の機会を毎年設けています。

読書活動の推進

毎週水曜日と金曜日には授業の始まる前に、読書タイムを設けて全学年で読書をしています。学校の一角に、「青空文庫」のコーナーを設けています。青シールを貼った本を、1日だけ借りられます。また毎週金曜日に学校図書館補助員の活動があり、図書室開放、本の整理整頓と児童への「読み聞かせ」により、図書への興味を促してもらっています。また、高学年は電子書籍スクールイーライブラリーを活用した読書活動を推進し、ビブリオバトルにも取り組みます。

ふれあい教育 (体験活動)

地域活動では、昔遊び・もち焼き体験・地域の清掃があります。また毎年6年生では、平和学習のまとめとして、地域に住んでいる方をお招きして、戦争体験の聞き取り学習を行っています。



安全見守り活動

東中本連合の町会長を始め、女性会、民生委員、子ども会、その他町会の役員をも含めたボランティアの方々と構成されています。見守り隊の見守り活動により、児童は安全に登下校しています。見守り隊の方は、毎日のように子どもたちと接していると、子どもたちの表情や対応によって、健康状態や今日の様子が手に取るようにわかっていただいております。



併設園の特色をいかして

市立東中本幼稚園を併設する小学校です。市内小学校282校・幼稚園51園の内、併設園は5校園だけです。合同の避難訓練や作品の相互鑑賞会などを通して幼小交流をすすめる、他者を労わる気持ちを醸成しています。

太陽班 (たてわり班) 活動

6年生の児童が中心となり、全校で楽しめる計画を立て、学校行事として行っています。「全校遠足」では、たてわり班に分かれてオリエンテーリングやゲームを行います。

